

令和7年6月9日

五戸町議会第12回定例会 一般質問通告一覧表

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1	一 問 一 答	柏 田 匡 智	1. 相続登記の義務化に係る五戸町の現状と将来について	令和6年4月より相続登記の申請が義務化されたことにより、相続人を確定することの難しさや、家屋・土地を将来どのように管理していくのか関心が高まっている。五戸町においても人口減少・人口流出により町外に相続人が増え、家屋・土地の管理不足による荒廃や近隣住民への損害が想定される。 家屋の空き家問題の他、農地・森林の管理者・経営者の現状を確認し、将来の五戸町をどのように継続可能な自治体としていくか取り組んでいる中、相続に係る問題は五戸町の将来につながる根幹であると考え、相続登記の義務化に係る五戸町の現状と将来について質問する。 (1) 「相続登記の義務化」に係る概要と、法務局・五戸町の関わりについて (2) 農地・森林に係る管理・経営の現状と将来への取組について (3) 「相続登記の義務化」に係る啓もう活動について

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2	一 問 一 答	尾 形 裕 之	1. 五戸のちからを五戸のちから世界へ未来へ情報発信し町民ひとりひとりの命輝く地宝・五戸新時代をつくることについて	(1) 第1回五戸町民大学講座が6月26日13時30分から公民館で「五戸と鎌倉市の歴史について」のテーマで開催されるが、五戸ちゃんねるでその後放送する予定があるのか。またABAのふるさとCM大賞にこのことを話題にして参加する考えはないのか。 (2) 五戸まつりに与謝野町から参加する方がいると聞いたが、どのような目的でどのようなイベントをするのか。 (3) 五戸の大衆浴場に町では年60万円の助成金を出しているが、その経緯となぜ60万円と制限を付けたのかお知らせ願いたい。 (4) 五戸ドームのボイラーは今後どうする予定か。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3	一 問 一 答	高 奥 浩 明	1. 小中学生の不登校と支援体制について	文部科学省の調査によると令和5年度の小中学生の不登校は全国で34万6,482人（令和4年度は29万9,048人）と増加傾向にありその対応が問われている。 小中学校の1,000人あたりの不登校は全国平均37.2人、青森県平均34.9人と青森県は全国平均より少ないものの増加傾向にあることは変わらない。 五戸町においても中学校の卒業式などでの欠席者の多さが気になった。 については、五戸町の不登校の現状と支援体制について伺う。 (1) 不登校の定義について (2) 五戸町における不登校の人数と割合、全国平均・青森県平均との比較、近隣他市町村との比較について。 (3) 不登校の原因分析、及び青森県の対応方針、五戸町の対応方針と具体的な支援体制について。
			2. 木村秀政ホールなどの歴史みらいパークリニューアル工事の進捗について	木村秀政ホールのリニューアル工事について、建物内はかなり進んでいることが見受けられる。その一方、池の工事はまだまだこれからという印象だ。 リニューアルオープンを心待ちにしている子育て世代の方は多いのではないかしら、また町の中心にあり駐車場も使い勝手が良いことから、町のにぎわい創出にもつながるのではないかと期待している。 一方、木村秀政ホールに展示されていた資料は、木村秀政博士の功績を町民が知るため、後世に伝えるためにも適切に管理・開示される必要があると考えている。 については、木村秀政ホールのリニュー

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
				アル工事について伺う。 (1) リニューアル工事の進捗、及びオープンの時期、形態、オープンイベントの計画について。 (2) 木村秀政ホールに展示されていた資料の管理・開示状況について。 (3) 木村秀政ホールの開館時間、イベント等への貸出など運営方法について。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
4	一 問 一 答	鈴木 隆 也	1. 産直施設「バ・オール」について	2026年度早期の開業を目指し、上市川地区に整備が進められている産直施設「バ・オール」について次を伺う。 (1) 本事業のこれまでの事業費は。また、今後、事業費は膨らむのか。総事業費をどの程度になると試算しているか。 (2) 施設の運営者との協議はどのように進んでいるか。また、農産物等の出品者との協議はどのように進んでいるか。 (3) 「バ・オール」が開業すると近接する県道20号の交通量や大型車の割合が増加することが考えられるため、交通安全対策や周辺環境対策を並行して進めるべきと考える。 現在、当路線の最高速度は50km/hだが、軟弱地盤のため現状においても、隣接する住民から振動や騒音の低減を求める声を聞く。住宅地の最高速度を40km/hにすることでそれらを少しでも低減できると考える。 また、地元である北市川地区の住民は徒歩で当施設に向かうことが多くなると考えられるが、県道20号を挟む字大峯嶽や字家ノ後などの地区から当施設に渡るには横断歩道が一つしかない。 また街路灯の増設や舗装修繕の必要もある。関係機関と協議し対策を進めるべきと考えるがいかがか。
			2. あおもり国スポについて	2026年、あおもり国スポが開催され、五戸町においてもひばり野運動公園で女子サッカー競技が開催される。 この機に、五戸町をPRし、交流人口を増やすきっかけになるとともに、子ど

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
				もたちにスポーツを通した教育のさらなる推進が期待できるのではないかと考えるが、次を伺う。 (1) あおもり国スポで五戸町においてになった方々への「おもてなし」をどのように考えているか。 (2) 現在の五戸町の小・中学生に与えられているスポーツを行う環境をどのように考えているか。 五戸町に住み、子育てを考えると、子どもに与えることができるスポーツを含めた教育環境も、大きな要因となるのではないか。 五戸町を好きになってもらい、定住していただき、子育てをしていただくには、スポーツ教育のさらなる環境整備が必要であると考えがいかがか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
5	一 問 一 答	川 崎 七 洋	1. 五戸小学校の部活動地域移行の現状について	文部科学省が旗振り役となり、現在日本中で部活動の地域移行が進められている。 五戸町でも運動部を中心に地域移行化が進められていると承知しているが、令和7年度からは更に小学校の部活の地域移行が進められたものと聞き及んでいる。 この点について以下の通りお伺いする。 (1) 町内小中学校の部活動について、どういう団体が受入れをしたのか、どのような活動をしているのかなど、地域移行化の現状について改めてご説明をお願いしたい。 (2) 制度としての地域移行の目的と必要性及び、効果や狙い、将来展望としてどういう未来を誘導したいのか、町の認識をお答えいただきたい。 (3) 令和7年4月から地域移行された五戸小学校太鼓部の保護者の方から、太鼓部の将来を大変不安に思っているご意見が届いている。町ではこの状況を認識しているか。また今後どのようにしていくおつもりか、お答えいただきたい。
			2. 切谷内小、上市川小の統合計画の推移について	生徒数減少に伴う町内の小中学校の統合再編の計画が着々と進んでおり、現在は検討段階が終了し、準備段階に入っているものと承知している。 統合される切谷内小学校と上市川小学校について、検討委員会の方からお話を聞いたところ、新聞報道なども影響してか、幾分かの混乱があったと聞き及んでいる。 この点について以下の通りお伺いす

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
				る。 (1) 切谷内小学校と上市川小学校の統合の最終的な結論について、改めてご説明をお願いします。 (2) 令和6年11月27日付の新聞記事で、「切谷内小の児童は五戸小も選べる学校選択制にすることも明らかにした」と報道された。その後、令和7年1月17日付の新聞記事では「学校選択制を示していたが、保護者アンケートと小学校適正配置検討委員会の意見を踏まえ導入を見送った」と訂正の報道がされた。一般的な視点からしても混乱があったことは目に見えて分かるが、この経緯について一体何があったのか、詳細なご説明をお願いしたい。 (3) 今回の統廃合により切谷内小学校が今後空き施設ということになるが、切谷内小学校にどのような資源があり、どのように利活用していくお考えかお答えいただきたい。また、同様に空き施設となる川内中学校、倉石中学校についてもお答えいただきたい。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
6	一 問 一 答	豊 田 孝 夫	1. 地区防災計画の策 定について	五戸町地域防災計画が、本年3月に改訂版が発行になった。風水害、地震、津波、火山災害など総ページ600ページに及ぶ膨大な計画書になっている。その中に随所に地区防災計画の提案の項目がある。自助、共助（互助・協働）、公助は災害発生時においては基本的なこととしてご存じのことと思う。 ここでは、地域の防災力向上のために、特に共助についてどのように取り組んでいるかについて、次の項目についてお答え願いたい。 (1) 地域の防災力向上のために自主防災組織の組成が有効と考えるが、現在町内に自主防災組織の組成数は何組あるか。 (2) 自主防災組織組成のために研修会等開催したと思われるが、令和5年からの研修会の開催数は何件か。 (3) 地区防災計画を作成するために町ではどのようなことを考えているか。 (4) 自分たちが住んでいる地域、自治会を単位とした防災計画が有効と考えるが、町の取組はいかがか。
			2. 町内ごみ収集所における資源ごみの 取扱いについて	資源ごみは、回収して再資源化、再利用できるごみの総称だが、アルミ缶、スチール缶、段ボール、新聞紙など換金できるものとして有価物扱いとなるものもある。そのため収集場所に分別して出された資源ごみを許可なく無断で持ち去る行為が町内でも見られたとのことである。 このような行為を防ぐために、自治体の法律として持ち去り防止条例を定めるところも増えてきているとのことである。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
				については、次のことについてお答え願いたい。 (1) 収集所に出された資源ごみの所有権利者については誰のものになるか。 (2) 勝手に持ち去りする行為を防ぐ手段について考えられることは。 (3) 資源ごみを有価物として、換金し自治会等の活動資金に充てている組織はあるかどうか。